

山行報告書

作成:2006年10月8日

愛知岳連 岡崎山岳会

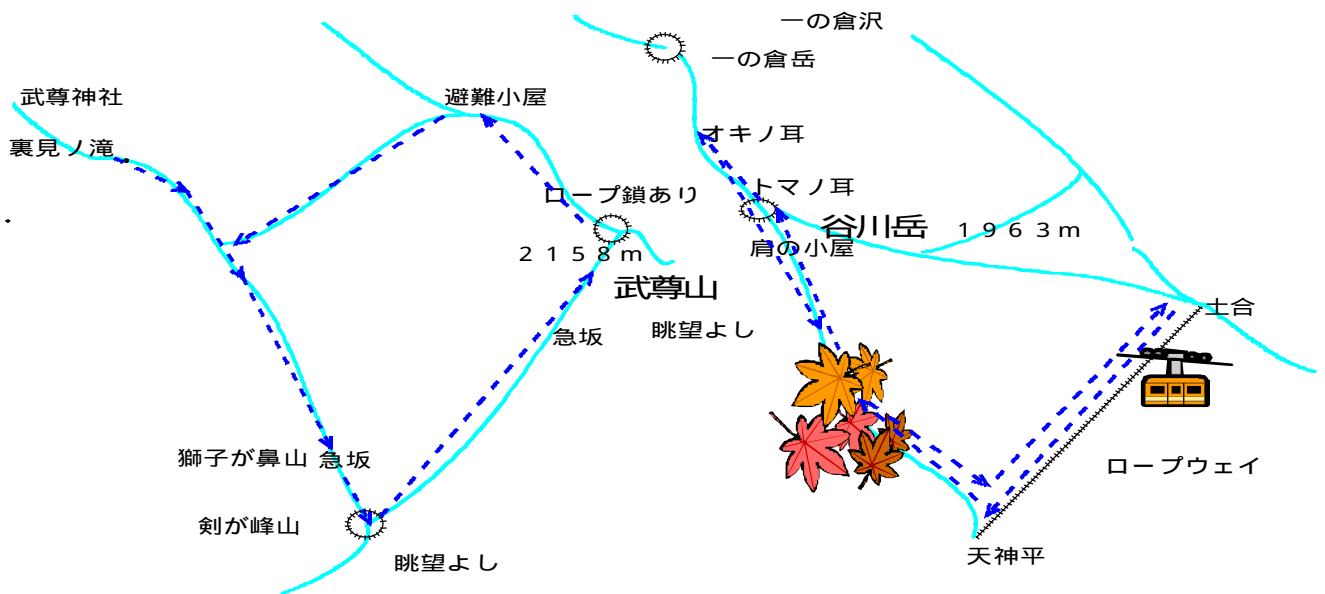
山名[山域]	武尊山 谷川岳	目的[方法]	少し早めの紅葉鑑賞
期間	2006年9月29・30 10月1日	形態	2泊3日
参加人数	4人		

行動記録:

9/29 30(土) 岩津市民センターPKG(2000) ==豊田東IC== 東海環状道 ==中央道== 長野道 = 上信越道 = 関越道 = 梓川S(10:30 10:45)水上IC - 道の駅水紀行館(1:00ss6:00) - 登山口(6:55) - 剣が峰(9:35 9:45) - 武尊山(11:00 11:30) - 分岐(13:00) - 合流点(13:40) 登山口(14:00) = ふれあい交流館(15:00)500円==道の駅 水紀行館PC

10/1(日)道の駅(6:45) = 土合ロープウェイ駅(7:10) - 登山口(7:30) - 山頂オキノ耳(9:50 10:00) - 登山口(12:00) = 湯テルメ谷川 600円(13:00 13:45) = 水上(14:15) = 沼田R145R144 嬬恋上田菅平(16:30)豊科IC 高速事故のため一般道山越え北松本IC? = 岩津市民C(9:40)

概念図:



日誌: 1日目 天候が下り坂であるらしかった。高速を乗り継ぎ450キロをひた走る。水上温泉まで5時間で到着。高速を知り尽くした同行者のおかげである。その日のキャンプ予定地の道の駅「水紀行館」はイベントの準備のためテントが幾張か張られていた。テントの下にテントを張り、2時に就寝。翌日5時半起床。藤原湖畔を走り武尊神社に着く。30台ほど駐車できるPがある。裏見の滝がすぐ近くにあるが、今は裏に行く道は通行止めになっている。これから先は瓦礫の道であるので、車でゆっくり進む。10分くらいで車10台ほど駐車できるPに着く。剣が峰コースで登る。前日の雨のせいか道がぬかるんで滑りやすい。山の腹を回り沢をトラバースしたあと急な登りになる。木々の根が露出しており足を取られやすい。始めはガスが出ていたが登るうちに徐々に晴れ間が出てくる。獅子ヶ鼻山、剣ヶ峰が特異な山容を呈し、「上州槍」と全員で銘名しながら急な坂を登る。剣が峰から武尊山までは緩やかに下り近くなると急な登りになる。頂上はわずかに開けており180度の眺望が楽しめた。至仏、朝日、巻機、日光白根らしき山が眺められた。下山は鎖場が数箇所あり神経を使った。避難小屋での道選択を誤らなければ楽なくだりである。下山でほっとしたせいか当初予定していた「宝川温泉」入り口を通過。次回は是非試して見たい温泉である。仕方なしに町営の「ふれあい交流館」で安い温泉につかる。

二日目 曇りがちでいつ雨が降り出すかと思える朝であった。土合のロープウェイは土日は7時スタートである。立体駐車場完備の乗り場であり、谷川岳山岳会の方たちが登山の注意を示唆してくれた。登り口は霧が出ており山の全容は把握できないが、コースに沿って木道を歩く。しばらくすると鎖付きの岩肌を登ることが多くなっていく。20人ほどのパーティーが休憩も取らずに登っていく。ツアーの20人ほどのグループも登っていく。その間に小グループが入り混じり登る。さすが東京から手軽に来られる山。若者も多い。人も多い。頂上付近の肩の小屋付近ではガスと風でいよいよカッパ装着。しかし、トマノ耳オキノ耳はすぐ近くであった。2000m近くになるとドウダンツツジが赤く染まり、霧に濡れ美しい光景であった。

感想: 北関東の100名山2山は山としては余りハードではない。しかしそこまで行くのが遠い。高速で5時間かかる。上信越道が湾曲してなければ都合なのだが(無理)帰路高速が事故で通行止めに会う。そんな場合の情報収集の仕方、遠方に出掛ける際は道路地図の携帯が必要であることなど今後の活動に生かしていきたい。